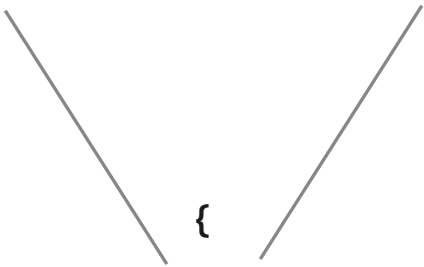


一般質問



P 9	r
	r
	r
P 10	r
	r
	r
P 11	r
	r
	r
P 12	r
	r
	r
	r
	r
	r

B

B

加入率の低下により、担い手不足や加入者の負担増などが課題



行政区の現状は（数・加入率等）

投票率の向上について
・年代別の投票率・地区別（小川・美野里・玉里）の投票率及び投票率の下がった要因は
・投票率向上のための取り組みは



幼少時から文化芸術に触れる機会を作ることは住民力の育成につながる

福島 ヤヨヒ

文化スポーツ振興部長
今後も対話の文化を継承しながら確保していきたい。予算についても補助

Q 高齢者の貧困対策として実態の把握はできていますか。どのような対策が実施されているか。見守り体制の充実を願う。高齢者の難聴に対する補聴器の補助制度は検討されているか。
要望 福祉部長、一人暮らしの高齢者が3350人、身体障がい者手帳所持者が1115人だが、地域包括支援センターを通じて訪問などで必要なサービスを提案している。地域の見守り体制の構築を図りたい。補聴器補助については検討を重ねていく。

W 金活用を進めながら確保していききたい。職員の働き方改革は他の部署とは異なるが、効率化を図り負担軽減を模索していく。幼少期の人づくりとして夢と希望が持てるよう文化芸術に触れる機会を作っていく。館長職も状況を見極め検討していく。
要望 総務部長、40箇所の投票所のうち

TXは羽鳥・堅倉地区を通して茨城空港へ

市民・市議会・執行部が一体となった取り組みを



鈴木 俊一

福祉部長、歳未満の移動困難者への支援は、社協への委託事業となる在宅福祉サービスセンター事業における送迎サービスがある。送迎料金がかかる地域への増額は、申請者の皆様にアンケートを実施し、結果を基に課題と改善点を整理して、評価検証をし

ていく。
産業経済部長、紙によるプレミアム商品券により地域通貨事業を行っているが、電子化に向けた動きはない。
企画財政部長、茨城県のパンダ誘致に對しての取り組みは



ZEB化の周知を広め、消費エネルギーの収支ゼロを目指す



植木 弘子

「エコスクール・プラス」学校施設のZEB化等の推進と教育的効果について

男子用トイレへのサニタリーボックスの設置について
疾患等により尿漏れパッドを使用する男性が少なくない。尿漏れパッドを捨てるゴミ箱等の設置について、清掃員への配慮を必ず行い実施を求める。

認可保育園の規定について「育休退園」の制度の廃止若しくは改善を求め、状況を確認する。

ZEB化事業もしっかりと周知を行い、できることから取り組む学校を増やしていく事が大変重要と考えるが。

11



U



GE

ら、当面の間は、既存の2つの組織と連携を図りながら取り組んでいく。しかしながら、今後の経過や市民の盛り上がり等、新たな組織が必要と判断されたときには、速やかに対応していく。

\$

市独自の協議会設置については、すでに市議会を核とした組織が設立されている。現時点において更なる組織の設立は、結集すべきエネルギーが分散してしまう懸念もあることから



法令解釈や情報管理を厳格にし啓発活動を広げていく

事。まずは $\$$ %を目標とし、そして市民の皆さんにも更に浸透させ、小美玉市自身がSDGsの全国統一評価基準を受け入れて他の自治体と比較評価される事が重要であり、普遍的な

企画財政部長、これまでも各事業においてSDGsの普及啓発に努めてきた。現在、策定を進めている第2次総合計画後期基本計画により具体的な取組目標を盛り込み、策定後の進行管理や達成状況等を評価していきたい。
要望、

評価と職員の意識改革とスキルアップは、他の自治体の模範となりモデルケースとなると確信している。
自衛官募集協力体制の充実化の進捗状況を伺う。
総務部長、



”

10

r

小美玉市子育て短期支援事業の受け入れ先と利用状況について。

要望

福祉部長
r

Q

E

ナショナルサイクルルートを活用した事業の推進は

モデルルート策定に向けた勉強会を予定。自転車施策を推進する。



Q 「教育の振興」について

「農業の振興」について

A 企画財政部長、



A 企画財政部長、

ナショナルサイクルルートを活用した事業の推進について、市内のモデルルート策定に向けた勉強会が予定されている。県や関係市町村と連携を図り、自転車施策を推進していく。

”

積極的に支援を行っていく



その他の質問



小美玉市の子育て支援について

多様な子育て支援が展開できるよう協議をしていく

子育て支援、子育て助成金の拡充について

出産祝い品プレゼント事業や子育て支援金などの出産祝い金とは別の新事業について

子育てに関する情報「妊娠・出産・子育て」に至るまでの、一目で分かり一貫性のある情報を提供してもらいたい。

投票所や期日前投票所を新設について

フレイル予防のためにもシルバースポーツを導入できるか伺う。



食料の自給率を上げる市の農業政策について

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

w

(2)

(3)

(4)

(5)

W

W



石井 旭

W

W

1

480

・小中学校の統

廃合により学校の位置が変わり、改めて適切な箇所へのスクールゾーン等の路面標示や看板設置が必要となってきた。これらの箇所についても、関係機関と早期に協議を行いながら、現状把握とともに適正な箇所への設置変更を進めていきたい。あわせて、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、道路標識や市道整備への活用が可能のため、先進地の宇都宮市が取り組んでいるキッズゾーン等の事例を参考にしながら、学校、幼稚園・保育園周辺の安全対策への活用を検討していきたい。

・県内の活用自

治体の多くは、明確なビジョンや課題を示し、プロジェクトやミッションを設定して募集を行っている。小美玉市が抱える課題やプロジェクトを検討していくなかで、地域おこし協力隊の活用を視野に入れながら進めたいと考えている。**A市長**、困難な課題解決には、関係各課が問題意識を共有し、連携を強化し、多面的、多角的な視点で解決策を導き出す必要があることから、地域おこし協力隊員の協力も含め、あらゆる選択肢を検討し、問題解決に向けて取り組んでいく必要があると考える。

孤独・孤立問題の認識と本市の取組み



孤独・孤立問題と小美玉行政について

W

福祉部長

W

産業経済部長 旧玉里

東小学校の校舎及び体育館は、解体し地元の方々が集う広場として跡地を利用する方向性をお示ししております。観光分野の企業誘致では大井戸湖岸公園をキャンプ場として整備するにあたっては民間資金の活用による効果的な整備、運営を目指し、民設民営による整備を検討している。

要望（懸念される点）

その他の質問

W

W

W

W

W